

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】総合演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	竹越 美奈子	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
授業の目的は、異文化を理解することにより、自分の文化について改めて考え、自分の意見を発信できるようになることです。具体的には、テキストの講読、担当者によるプレゼンテーション、参加者全員によるディスカッションによって行います。

■ 授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	テキストの講読、プレゼンテーション、ディスカッション等による

■ 各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	授業の進め方についての説明	☐
第2回	テキストの講読とディスカッション(1)	テキストの講読、担当者によるプレゼンテーション、全員によるディスカッション等(1)	☐
第3回	テキストの講読とディスカッション(2)	テキストの講読、担当者によるプレゼンテーション、全員によるディスカッション等(2)	☐
第4回	テキストの講読とディスカッション(3)	テキストの講読、担当者によるプレゼンテーション、全員によるディスカッション等(3)	☐
第5回	テキストの講読とディスカッション(4)	テキストの講読、担当者によるプレゼンテーション、全員によるディスカッション等(4)	☐
第6回	テキストの講読とディスカッション(5)	テキストの講読、担当者によるプレゼンテーション、全員によるディスカッション等(5)	☐
第7回	テキストの講読とディスカッション(6)	テキストの講読、担当者によるプレゼンテーション、全員によるディスカッション等(6)	☐
第8回	テキストの講読とディスカッション(7)	テキストの講読、担当者によるプレゼンテーション、全員によるディスカッション等(7)	☐
第9回	テキストの講読とディスカッション(8)	テキストの講読、担当者によるプレゼンテーション、全員によるディスカッション等(8)	☐
第10回	テキストの講読とディスカッション(9)	テキストの講読、担当者によるプレゼンテーション、全員によるディスカッション等(9)	☐
第11回	テキストの講読とディスカッション(10)	テキストの講読、担当者によるプレゼンテーション、全員によるディスカッション等(10)	☐
第12回	テキストの講読とディスカッション(11)	テキストの講読、担当者によるプレゼンテーション、全員によるディスカッション等(11)	☐
第13回	テキストの講読とディスカッション(12)	テキストの講読、担当者によるプレゼンテーション、全員によるディスカッション等(12)	☐
第14回	テキストの講読とディスカッション(13)	テキストの講読、担当者によるプレゼンテーション、全員によるディスカッション等(13)	☐
第15回	まとめ	まとめ	☐

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)
自分で授業前に教科書の該当ページを読んで疑問点をまとめておき(2時間程度)、授業後に改めて興味を持った点についてさらに調べてまとめる。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)	
学生のプレゼンテーションに対しては、演習時間内にコメントし、全体で共有します。	

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	テキストの講読を通して、韓国の暮らしと文化についての基礎知識を習得し、それについて自分なりの考えや意見をもつことができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	テキストの講読を通して得られた知識と自らの経験を基に、創造的に考えて課題について判断し、自分の考えをプレゼンテーションという形で表現、発信できる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	他の学生のプレゼンテーションを聞いて、他の学生の中でディスカッションし、問題を解決することができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	舘野哲『韓国の暮らしと文化を知るための70章』明石書店	9784750337388
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		